

表彰式は、関宮雄副会長が開会の辞を述べ、続いて安藤文隆会長が教育功労者一人ひとりを表彰し、祝辞を述べました。

次に、来賓の酒井直人中野区長、酒井たくや中野区議会議長、入野貴美子中野区教育長から、受賞された方々の永年にわたる教育・PTA活動や児童福祉・振興会へのご貢献に対し、お祝いと励ましの言葉とともに、区の教育の現状や行政として取り進む給食費無償化などについての話をいただきました。

続いて、受賞者を代表して武智直貴中野区立平和の森小学校校長が謝辞を述べられ、最後に加藤拓磨副会長の閉会の辞をもって式を終了しました。

受賞者代表謝辞

令和五年度、公益財団法人中野区教育振興会・教育功労者表彰にあたり、受賞者を代表いたしました。お礼の言葉を述べさせていただきます。

ただ今、中野区長酒井直人様をはじめ、多くのご来賓各位のご臨席の中、中野区教育振興会会長安藤文隆様より教育功労賞を賜り、栄誉の喜びと感謝の思いでいっぱいでございます。

私たち受賞者は、中野区の教育振興のために各分野で尽力して参りました。

私は、昭和六十一年に教職に就き、以来三十八年間学校現場に勤めております。平成二十一年二月、ちよう



ど副校長に昇任するタイムで、ご縁があつてここに野区に参りました。教職人

生の後半である管理職としての十五年をこの中野区で学び、学校運営、学校経営に努めて参りました。新体育館建設時に携わった、最初の統合新校である桃花小学校、野方駅前大きな商店街の皆さんと一体となつて開校八十周年に取り組んだ北原小学校、閉校を控えながらも、地域の皆様のお力により、安定して穏やかな教育活動を進めることができた宮小学校、そして、開校十周年を執り行い、進み始めた新校舎の計画に

も前向きに取り組むと共に、たくさんの子どもたちと日々エネルギーに過ごしている現任校平和の森小学校。全ての学校で教職員一丸となつて取り組み、常に前向きに教育活動を進めてきたと自負しております。令和2年度、校長会長を務めたこの年には、新型コロナウイルス対策のために長きに渡る臨時休校措置がとられ、様々な対応に苦慮いたしました。教育委員会と協力して教育活動を止めないことに努め、このことも私にとって大きな経験、大きな学びでした。

これまでの教育活動を充実させることができたのは、様々な方々のご支援があつたからこそであります。中野区教育振興会は、教育研究費の助成の他、奨学資金の給付、中学生ボランティアの表彰、中野区検定事業など、本区の教育活動の支援に大きく貢献してくださっています。そのような恵まれた環境で教育に携わってきた私は、学生時代に子どもたちと一緒に過ごす時間を喜びと感じる自分に気づき、この道を選んでこ

こまで生きてきた中で、後悔したことは一度もなく、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。最後にになりましたが、中野区の教

育の発展のために尽力されている中野区教育振興会に対し重ねて敬意を表すとともに、私たち受賞者一同、今後も中野区の教育発展のために力を尽くして参りますことをお誓い申し上げます。お礼の言葉といたします。

令和五年十一月十日
受賞者代表 武智 直貴

第10回中野区検定
中野のホシ★ものしり
博士が9人誕生!

第10回中野区検定を11月26日(日)中野区産業振興センターにおいて、午前10時から実施しました。

出題した問題は、過去問から新たな問題として時事・区の行政に関する事、中野区に関係する有名人の事、中野区の神社仏閣等に関する事々と多岐にわたっています。

問題作成に当たっては、受検者からのアンケートで寄せられた問題文が長い事への対応や、過去問の出題割合や受検者の皆様が答えられるような新たな問題の創作等、頭を痛めながら取り組みました。

受験者数は75人でした。年齢は14